

# 一般質問通告書

【第75回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様

多可町議会議員 笹倉政芳 

受 領 日	番号
平成29年3月6日 午前・午後10時35分	10

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<b>1. 空き家対策の充実を求む</b>	町長
1、空き家の活用を推進するための必要な人材  2、空き家活用事業 お試し住宅 改修費用の予算化  3、古民家を利用した起業支援や地元企業の紹介	
<b>2. 多可町に高速道路を！</b>	町長
1、「高速道路もJRの駅もない町・多可町」を売りにするのか脱却するのか	

## 質 問 の 内 容

### 1、 空き家対策の充実を求む

以前も質問させていただきましたが、定住推進課の担当者も一生懸命に頑張っていておられます空き家対策は情報収集やバンク登録が増えてきており成果を上げてきていますが、今後スピード感をもってやっていくには今の体制では限界があると思います。更に充実するために集落支援員の検討や定住コンシェルジュの小椋さんをリーダーに「多可町空き家再生プロジェクト」なる組織を立ち上げ関係課と情報システムを確立してしっかりと連携をとる取り組みなどが求められます。

行政が担当し支援できること、民間に担当してもらうことをきっちり打ち出し行動につなげる事が一番と思います。町長の所見をお聞かせください。

また先日知り合いの方が訪ねて来られ、「私には、跡取りがない。できれば血縁関係の子に住んでもらいたいが、なかなか難しいこともあるので、だれか話があれば紹介してほしい」と話されました。まだ70歳ぐらいで元気な人ですが、早くからそんな心配をされている人もあり、空き家に対する意識の違いを感じました。そんな方の相談事や多可町に興味を持たれ移住を検討されている人のお話が落ち着けるところでゆっくり聴け、アドバイスができる場所が必要と思います。その為に1~2軒、古民家を改装し、以前にも話に上がっている「お試し住宅」などを開設すればと考えます。少し滞在したい方にはそこで体験入居していただき、多可町を感じてもらえればよいと思います。これまでは、小椋コンシェルジュのお宅で相談に乗ってもらったり、時には見ず知らずの人を泊めていただいたりと大変な負担をかけていますので是非実現してもらいたいと思います。町長の所見をお聞かせください。

特に若い世代が多可町に移住して生活するには仕事があればなりませんので仕事をどんどん発信していかなければと思います。

多可町には地域に貢献をしたいとの願いで「雇用の促進」「若者の地元定着」を目指されている企業が多くあります。4月には企業懇話会を発足される予定で仕事の情報窓口ができます。また多可町には他の自治体に比べ地域資源がたくさんあります。例えば杉原紙・山田錦・播州織・林業・農業等しごとの紹介もできます。また新たに多可町に不足しているものを発信して新たな起業移住者を募集することもできます。可能性は無限大です。如何に働きかけるかだと思います。町長の所見をお聞かせください。

2、

## 多可町に高速道路を！

今年の1月4日、妙見富士カントリークラブで開催された「年頭に集う会」には行政関係者58人と商工会関係者48人の計100人以上が一堂に会し、新年にかける夢が語り合われました。冒頭のあいさつの中で、小寺博史・多可町商工会会長は、交通アクセスの問題に触れておられました。

一部、引用させていただきますと、「商工業者はもちろん、住民の生活や地域過疎の問題にも深く影を落としてきております。今後の地域を支えてくれる若者たちに夢と希望を与えるためにも、「高速道路もJRの駅もない町・多可町」から脱却すべき。そのうねりを起こそうではありませんか」というものでございました。

地元選出で、西脇市出身の国土交通大臣政務官を務めておられる藤井比早之衆議院議員は、道路や鉄道など国土交通問題について全国各地から寄せられる要望や陳情の対応に追われていらっしゃるようです。藤井代議士は常々「山陽自動車道三木JCTと中国自動車道社PAをつなぐ道路を築き、さらに日本海側へとつなげる。神戸市から西脇市を經由して日本海と瀬戸内海を結ぶ道をつくることで、人と物の流れが生まれ神戸・北播磨を繁栄させることができる」と話されます。西脇市を經由する高速道路を築くのであるならば、そこから西に進むことにより播但連絡道路に結びつける道にさせるのではなく、西脇市からさらに北上して多可町に高速道路を引いてもらわなければならないのではないのでしょうか。かつて、多可町には西脇市までを結ぶJR鍛冶屋線が通っており、瀬戸内海に面する加古川市まで容易に向かうことができました。同線は廃線になりましたが、西脇市と篠山市とを結ぶ谷川線はいまだに存続しています。切り捨てられたかのような悔しさを決して忘れてはなりません。

人口約2万人の多可町と日本有数の大都市である150万人の人口を有する神戸市を結ぶ高速道路が実現するならば、鍛冶屋線が復活することにもまして、多可町を盛り上げる契機になります。そのような高速道路を通すことは多くの多可町民の願いでもあり、我々町議会も藤井代議士、県議会で総務常任委員長を務めている内藤兵衛県議会議員という地元選出の議員と連携し、いまずぐにでも行動すべきであると考えます。当然、高速道路は今日明日に完成するものではないですが、子や孫らのためにしっかりと明るい未来の礎を築かなければなりません。実現のためには、まず地元が元気を出さなければ何も変わらないと思いますので町長の所見を是非、お聞かせください。